

スマートメーター運用セキュリティ教育 理解度確認テスト（解答と解説）

実施日	年	月	日
所 属			
氏 名			
点 数	(/	10)

下記の問いで正しいものには○，間違いには×を記入する。

- (×) 1. スマートメーター（以下、「SM」という）のセキュリティ対策は北陸電力送配電社員のみ実施すれば十分であり，委託先における対策は不要である。
⇒ 委託先においてもセキュリティ対策が必要。再委託する場合は，再委託先においても同等の対策が必要。
- (○) 2. セキュリティ対策が必要なSMは，開閉器を内蔵したものだけでなく，全てのSMが対象である。
⇒ サイバー攻撃による大規模停電，情報の漏えい，検針値データの改ざんといったリスクが生じるため，通信機能を有する全てのSMを対象とする。
- (○) 3. SMのセキュリティ対策は，責任者だけでなく，SMを取り扱う全ての社員が理解している必要がある。
⇒ SMを取り扱う全ての社員がセキュリティ対策を実施する必要がある。
- (○) 4. 社内で保管するSM，ハンディターミナル（以下、「HT」という）および，SM工事に関する作業手順書や計器工事票等のSM関連文書は，施錠できる箇所（建物）に保管する。
⇒ SM，HT，SM関連文書を社内で保管する場合，保管箇所（建物）を施錠管理する必要がある。
- (×) 5. SMを保管する倉庫は社員が常駐していないが，敷地内であり，部外者は立ち入らないため，夜間のみ施錠した。
⇒ SM，HT，SM関連文書を保管する場所に社員がいない場合（一時的に不在となる場合を含む）には，保管箇所（建物）を施錠する必要がある。
- (×) 6. 取り外したSMは，もう使用しないため，屋外で保管した。
⇒ 取り外したSMであっても，施錠できる保管箇所（建物）に保管する。
- (×) 7. SMやHTで取り扱うデータは暗号化されており，第3者には操作できないため，盗難，紛失が発生しても問題ない。
⇒ HTと業務委託証明証を入手することによりSMの操作が可能となるほか，SMやHTが分解・解析されることで不正に操作する方法が発見される等，新たなリスクが生じる恐れがあるため，SM，HT，業務委託証明証等の取扱いルールを徹底する。

(×) 8. SMに関する作業手順書は個人情報を含まないため、通常の廃棄物として処分した。

⇒ SM関連文書は、個人情報の有無に関わらず、社外（委託先を除く）への流出、漏えいの防止を徹底するとともに、社外へ持ち出す場合には、盗難、紛失に対して細心の注意を払わなければならない。

(×) 9. 作業の際、短時間であったため、計器工事票や送停電指示票を車内に置き、施錠せずに車両を離れた。

⇒ SM, HT, SM関連文書は、車内に放置しない（車両を一時的に離れる場合には、車両全てのドアを施錠する）。

(×) 10. HTを紛失したが、翌日検索すれば自身で発見できると思い、責任者および北陸電力送配電への報告は検索後に行うこととした。

⇒ SM, HT, SM関連文書を紛失した恐れがあるときは、直ちに責任者および北陸電力送配電に報告し、人員を総動員した検索を実施すること。（緊急連絡体制による）

採点の結果、全問正解できなかった場合は、再度「教育資料」で学習のうえ、本テスト実施する。（全問正解するまで繰り返す）

以 上